

## 資料寄贈のお願い

昭和館では、戦中・戦後（昭和10年頃から昭和30年代まで）の国民生活上の労苦を伝える資料の収集・保存・展示を行っています。これまでも全国の団体・個人の方から多くの資料をご寄贈いただきありがとうございました。なお一層の充実を図るため、下欄の資料の収集を行っています。

お手持ちの資料で寄贈をご検討いただける場合は、まず情報をお寄せください。担当者からご案内させていただきます。

なお、既に収集済みの資料や当館の趣旨にそぐわないものにつきましては、ご意向に沿いかねる場合がございます。多くの方からの情報をお待ちしております。

### 探している映像・音響資料

・戦前から昭和30年代に撮影された記録フィルム（16ミリ、35ミリ）や写真（主に撮影地や撮影年などの情報がわかっているもの）

●連絡先 昭和館 映像・音響室  
TEL：03-3222-2574 FAX：03-5216-3152  
メールアドレス：info@showakan.go.jp

### 探している図書・雑誌資料

・戦中・戦後の生活に関する体験記  
・戦前・戦中・戦後の教科書及び少年少女・婦人雑誌  
・当時の実用書、写真集、部隊史

●連絡先 昭和館 図書室  
TEL：03-3222-2573 FAX：03-3222-2626  
メールアドレス：book@showakan.go.jp

## 昭和館デジタルアーカイブの案内

「昭和館デジタルアーカイブ」では、収蔵資料の一部を検索・閲覧することができます。今後も順次公開点数を増やしていく予定です。

「館内限定公開」と表示される資料については、昭和館内で閲覧・視聴することができます。

●URL：<https://search.showakan.go.jp>

## 「次世代の語り部」の案内

昭和館の「次世代の語り部」は戦後生まれの語り部です。当時の人々のくらしや労苦を学び語り継ぐ活動をしています。学校の授業や団体の催しなどに語り部を派遣します。

●連絡先 昭和館 次世代の語り部事業  
TEL：03-3222-2574 FAX：03-5216-3152  
メールアドレス：kataribe@showakan.go.jp

## 貸出キットの案内

「貸出キット」は常設展示室の内容をコンパクトにまとめたセットです。学校の授業や見学の事前学習、展示会などにご活用いただけます。

詳しくは昭和館学芸部までお問合せください。

●連絡先 昭和館 学芸部  
TEL：03-3222-2577 FAX：03-3222-2575

## 利用案内

### 開館時間

午前10時から午後5時30分 ※入館時間は午後5時までです。

### 休館日

月曜日（祝日または振替休日の場合は、その翌日）  
年末年始（12月28日から1月4日）  
1月の最終の土・日曜日）資料交換のため、常設展示室のみ休室  
6月の最終の火・水曜日）※変更の場合があります。

### 常設展示室入場料

	個人	団体(20名以上)
高校・大学生	200円	160円
65歳以上	360円	300円
大人	400円	320円

※4月29日、8月15日は入場料が無料となります。  
※次の方は無料になります。

●小・中学生 ●未就学児 ●身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳をお持ちの方及び付き添いの方(1名につき、1名)  
●学校団体の引率者（教職員、旅行代理店の添乗員）

## 交通案内



### 電車をご利用の場合

地下鉄「九段下」駅出口4から徒歩約1分  
(東西線・半蔵門線・都営新宿線)  
JR「飯田橋」駅から徒歩約10分  
靖国通りから1階入口へ

### 車をご利用の場合

東京シティ・エアターミナル「箱崎」から約10分

首都高速西神田ランプから約1分  
靖国通りからお入り下さい。  
※団体バスでご来館の場合は、事前にご連絡下さい。

### 駐車場利用料金

30分200円  
※立体駐車場につき、普通乗用車のみ  
※高さ制限あり

## 所在地・お問い合わせ先



昭和館の敷地は、国民公園皇居外苑の一部です。



〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1  
TEL: 03-3222-2577 FAX: 03-3222-2575  
<https://www.showakan.go.jp>

平成11年 4月1日 初版  
令和 5年 5月1日 第11版 1刷  
令和 5年10月3日 第12版 1刷  
令和 6年 3月1日 第13版 1刷 印刷所/株式会社耕文社



# 昭和館

伝えたい、  
戦中・戦後のくらし。



## 昭和館について

昭和館は、国民が経験した戦中・戦後の生活に係る歴史的資料・情報を収集、保存、展示し、労苦を次世代に伝える国立の施設です。

## 各階のご案内

### 7・6階 常設展示室<有料>



昭和10年頃から昭和30年代までの国民生活を伝える実物資料等を展示しています。  
※見学時間は60分程度

銃後の備えと空襲

### 5階 映像・音響室<無料>



タッチパネル式のパソコンを使って写真、映像、音響資料を検索し、視聴することができます。

「バラックの前に立つ女性」  
昭和20年9月 オーストラリア戦争記念館提供

### 4階 図書室<無料>



戦中・戦後の国民生活に関する図書や雑誌の他、地図、海図などの資料を検索、閲覧できます。

### 3階 研修室

小・中学校団体への昼食会場  
や特別企画展等の会場

### 2階 広場

イベントや写真展の会場等、  
多目的に使用しています。

### 1階

昭和館懐かしの  
ニュースシアター<無料>  
戦中・戦後の国民生活を記録した  
当時のニュース映画を毎日上映



(毎週土曜日に番組を更新)  
※40分程度に編集し、エンドレスで上映

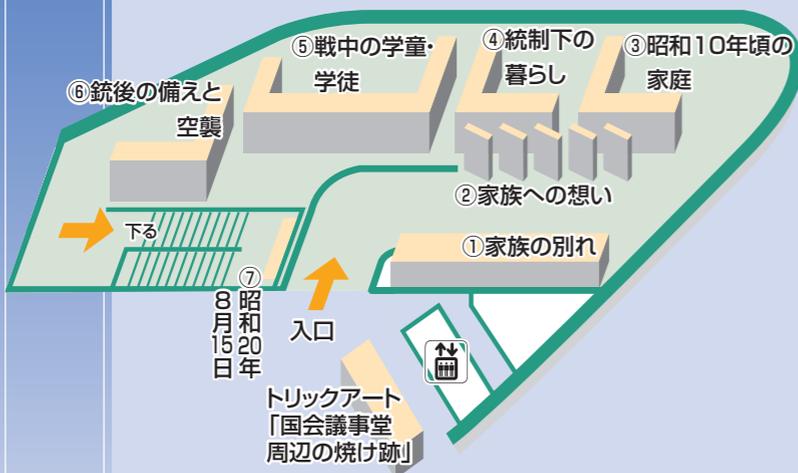
資料公開コーナー  
映像・写真資料や図書・雑誌資料  
を随時紹介しています。



## 入口・総合案内

## 7 階 常設展示室・入口〈戦中の暮らし〉

昭和10年頃から昭和20年（終戦）までの戦中における国民生活を伝える実物資料を展示しています。



- ① 家族の別れ
- ② 家族への想い
- ③ 昭和10年頃の家
- ④ 統制下の暮らし
- ⑤ 戦中の学童・学徒
- ⑥ 統制後の備えと空襲
- ⑦ 昭和20年8月15日



統制下の暮らし



防空壕体験

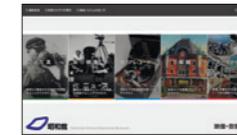
## 5 階 映像・音響室

戦中・戦後の国民生活に関する写真や映像、ニュース映画、オーラルヒストリー（証言映像）、SPレコードの音源等をデジタル化したデータベースから検索、閲覧・視聴していただけます。



昭和10年頃から昭和30年代にかけて国内、国外のカメラマンが撮影した写真や映像、世相を反映したニュース映画、SPレコードに収録された音楽や演芸、講演等の音源、東京大空襲を描いた絵画等を視聴・閲覧できます。

### 映像・音響資料検索端末の利用方法



調べたい資料の種類を選びます。年代、撮影者名、曲名など、さまざまな項目から検索することができます。



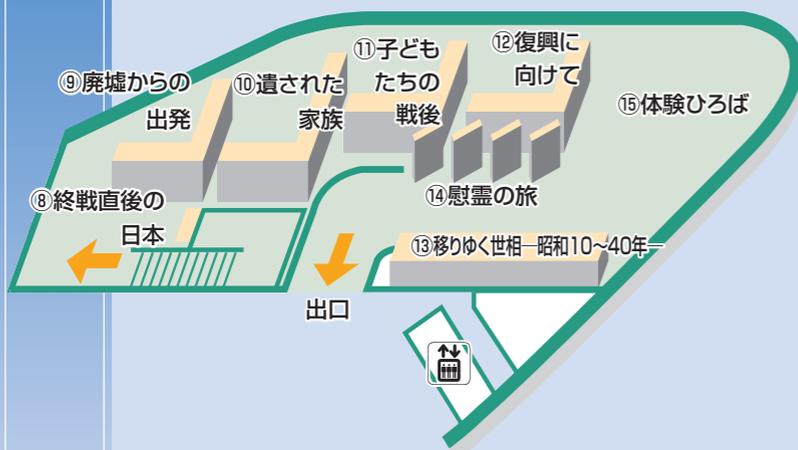
検索結果の一覧から、ご覧になりたい資料を選びます。



選んだ資料は詳しくご覧いただくことができます。(写真は「子どもをおぶった女性たち」米国国立公文書館提供)

## 6 階 常設展示室・出口〈戦後の暮らし〉

昭和20年（終戦）から昭和30年代までの戦後における国民生活を伝える実物資料を展示しています。



- ⑧ 終戦直後の日本
- ⑨ 廃墟からの出発
- ⑩ 遺された家族
- ⑪ 子どもたちの戦後
- ⑫ 復興に向けて
- ⑬ 移りゆく世相—昭和10~40年—
- ⑭ 慰霊の旅
- ⑮ 体験ひろば



三種の神器



体験ひろば

## 4 階 図書室

戦中・戦後の国民生活に関する図書や雑誌の他、地図、海図などの資料を検索、閲覧ができます。所蔵資料は目次を含めてデータベース化されており、さまざまな目的に応じて検索が可能です。なお、資料の館外貸出は行っていません。



戦中・戦後に刊行された図書や雑誌の他、各地の戦災記録、都道府県史及び市町村史、企業史、公刊戦史、戦中・戦後の暮らしに関する手記などが閲覧できます。また、新聞縮刷版、地図、逐次刊行物などもご利用いただけます。

### 図書検索端末の利用方法



調べたい資料の種類を選びます。タイトル、著者名など、さまざまな項目から検索することができます。



検索結果の一覧から、ご覧になりたい資料を選びます。



目次等の詳細情報を確認できます。閲覧したい場合は請求票を出力してカウンターにお出し下さい。請求票が出ない資料は図書室の書棚から探して自由にご覧いただけます。